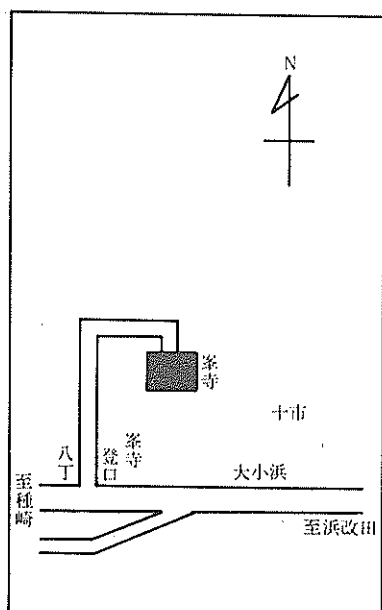
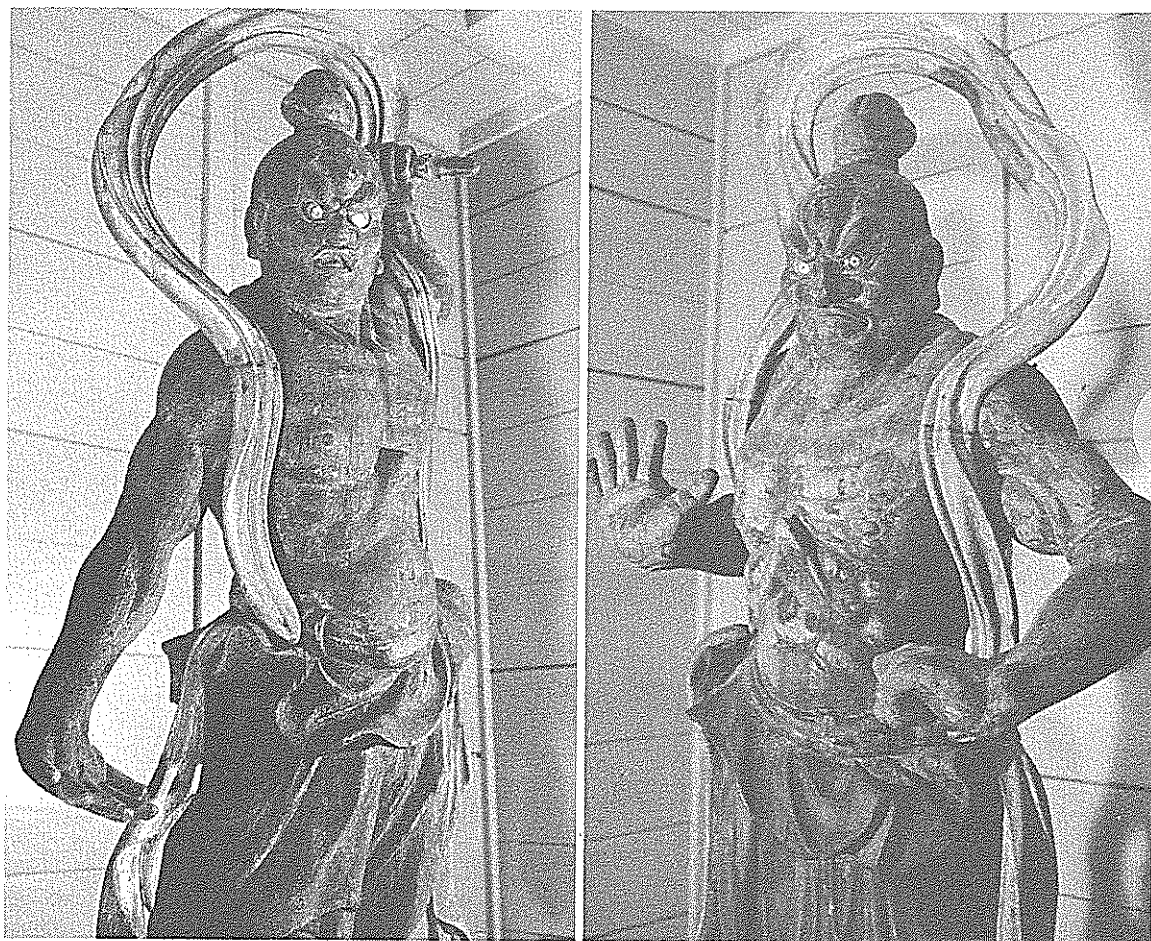


史跡・文化財めぐり⑩

（峯寺）



十市の峯山にあり、四国八十八カ所、第三十二番の札所で真言宗豊山派に属している。

大同年間（806年頃）、僧空海が開いたもので、本尊は空海自作の十一面観音像である。定明作の金剛力士像二体は、鎌倉時代を代表する傑作で重要文化財である。この寺は景勝の地にあり、ユースホテルとしても栄えている。『静かなる我がみなとの禅師峯寺、浮かぶ心は法のはやぶね。』峯つづきの月見崎は眺めがよく、文人飛鳥井曾衣が月を賞したところである。

広報 **なんこく**

2/151976 No.212

編集・発行／南州市広報委員会